

質問順 第530回 令和5年6月定例会 一般質問通告一覧表

富士見町議会

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者			
1	4	三井 新成	(1) 産業振興について	① テクノ街道沿線への企業集積の現状は。	町長			
				② 今後、期待できる企業進出はあるか。				
				③ 集積を進めるうえでの追加施策はあるか。				
				④ 若者向けの雇用促進住宅の用地取得や建設する考えは。				
				⑤ インフラ整備が後追いとなっているが先行できないか。				
			(2) 過疎化対策について	① 各集落の過疎の状況は把握はできているか。	町長			
				② 空き家対策の現状は。解体撤去件数は。				
				③ 新たな対策はあるか。				
				④ 買い物困難者への支援策は十分か。白樺宅配の利用度は。				
				⑤ 農地保全のための耕うん作業や土手の草刈りに補助が必要と考えるが。				
			(3) 観光戦略について	① 地元特産品のブランド化を広く町民から募集していく考えは。	町長			
				② エコラインの延伸に対しての経済的効果を調査研究する考えは。				
			2	6	渡辺 葉	(1) 若い世代を各集落に増やし、地域の活力に繋げるための施策について	① 賃貸物件の不足や宅地造成の難しさから、町内や中心市街地外の集落に住みたくても住めない若い世代が多数おり、集落ごとの子育て世帯割合の差にも繋がっている。新しく策定された宅地造成支援事業補助金は、この課題にどのように応えるか。	町長
							② 区への加入が条件となっている補助金もあるが、情報不足等から地域の負担が増える場合も出てきている。受給者へのフォローアップやメンター制度など、転入者と地域の繋がり形成に対する支援は考えているか。	
						(2) 多世代が活用できる公共交通システムについて	① 少子化の影響から危険箇所を含む通学路を1人で歩かなければならない生徒が増え、送迎負担軽減を求める声が多く届いている。今年度実証実験を予定している新公共交通システムは、このような声にどう応えていくか。	町長
② 多世代のニーズに応えるには多世代の町民の意見を取り入れることが必要と考えるが、デマンドバス登録者以外の声はいつ、どのように集めていくか。								
(3) 町内企業の人材確保、売上向上やコミュニティ強化に対する支援について	① 就職説明会の参加者数などから、仕事の情報発信に関し課題を感じている企業が多い。広報ふじみでの企業PR・求人募集コーナーの連載や、求職中の若い世代が使うInstagram等での情報発信を求める声が届いているが、町の考えは。	町長						
	② 町内の多くの精密企業には、使用頻度が年に数回と低いため各社で投資することが難しいが、品質管理の高さの証明に必要な検査機器が複数あり、岡谷の工業試験場等まで行っているという現状がある。ブランディング向上や企業間交流促進を目的とした、町内企業でシェアできる検査機器の商工会等での設置を求める声が上がっているが、町の考えは。							

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者	
3	5	牛山 吉彦	(1)	人口減少対策について	① 町長が言う「人口の争奪戦」において人口目標を上方修正したが、最も実効可能性が高いと思われる施策は何か。	町長
					② 日本や先進諸国では人口減少が避けられない一方、人口増加諸国もある中で、富士見町として外国人を積極的に受け入れる考えはあるのか。	
					③ 区(集落組合)に加入していない町民に対して、支援策を検討できないか。	
			(2)	有害鳥獣対応について(特にサル被害)	① これまでのサル被害対策として「有効」だと評価している対策は何か。	町長
					② 行政まかせではなく「住民の意識向上」や「主体的参加」を促す施策は検討しているのか。	
					③ 捕獲&GPSより「センサーカメラ」や「出没・被害報告アプリ」等が効果的ではないか。	
			(3)	耕作放棄地対策について	① 耕作放棄地の情報開示や対策の現状は。	町長
					② 飼料用農作物栽培への転用や作業負担の少ない栽培方法の採用や、活用しやすい実証実験などの実績は。	
					③ 「半農半X」を希望する移住者等への支援策は。	
4	7	名取 久仁春	(1)	道路改良事業の概要について	① 今年度の道路施設予防保全対策事業で取り組む道路は。	町長
					② 国の起債を受けるための要件は。	
					③ 町単道路改良事業で取り組む4路線は。	
5	2	山口 肇	(1)	給食費の無償化について	① 第6次富士見町総合計画の中でも、「①子どもがのびのびと育っていくまち」と明記している。「給食費の無償化」は、町子どもたちを大切にするというメッセージの発信には効果が大きいと思われるが、町の考えは。	町長
					② 就学援助制度の認定条件、申請方法や支給方法はどうか。	教育長
			(2)	中学校橋について	① 検討委員会の構成メンバーは。検討委員会の透明性を高め、住民の理解と納得の上に、検討が進められることが望ましいと思うが、町の考えは。	町長
					(3)	「水田活用直接支払交付金」の見直しについて
			② 耕作放棄地が拡大するのではないかと思われる。今後の農地保護や土地活用のビジョンについて、町はどのように考えているか。			

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
6	1	織田 昭雄	(1) 公共施設等総合管理計画の取り組みについて	① 2056年までに公共施設の延べ床面積を約38%減らすと公共施設等総合管理計画の中に明記されている。具体的内容の根拠となるものは何から算出されているか。	町長
				② 基本方針の中で総延べ面積の28%を占める学校教育施設や民間と競合する「公営住宅等」を最優先対象とし、老朽化している施設や利用度の低い施設の統廃合を検討するとある。こうした計画の実施は、時期や現状を鑑みて可能と考えているか。	
				③ 町の財政状況で毎年投資的経費及び維持補修は8.5億円前後で推移し、公共施設の更新などでさらに投資的経費の上振れが予想される。また、生産年齢人口の減少による歳入の減少が見込まれるとされているが、この財政状況を乗り切っていく考えはあるか。	
				④ ロシアのウクライナ侵攻に端を発した、あらゆる資材原料の高騰により物価は上がっている。町が試算した公共施設とインフラの維持管理、更新等費用としての40年間で920億円(年に23億円)を上方修正しなければ計画が進まないと思うが町はどう考えるか。	
			(2) 少子高齢化社会を迎えて町が直面する諸問題の施策について	① 町の施策の中で子育て支援は最も重要な施策であることは否定するものではないが、高齢者の増加に伴う施策の在り方についても重要だと考える。町はどう対応するのか。	町長
				② 高齢化率の高い小規模集落の支援策が始まっているが、その現状と、浮き彫りになる課題に対し町としてはどのような支援が必要と考えるか。	
				③ 町の高齢化率は益々進んでいくと思うが、これからは小規模集落だけではなく、富士見区のような大きな行政区でも高齢化は進み、それと同時に一人暮らしの高齢者世帯も増加している。隣組の在り方などにも運営が難しくなるケースが出てきているが、支援策は考えられないか。	
7	3	矢島 尚	(1) 町の特産品について	① 富士見町の特産品(農作物)の中で、最も出荷量が多い農作物の上位3つは何か。またそれらの年間の売上は。	町長
				② 富士見町の特産品(お土産類)の中で、売れ筋の上位3つは何か。またそれらの年間の売上は。	
				③ 観光客など富士見に訪れた方が、これは購入したいと思うような新たな特産品の考えは。	
			(2) 生涯スポーツの普及・推進について	① 諏訪市と合同で開催している陸上大会に、一人一種目しか出場できないと聞かすがどうしてか。また他の競技などもそうなのか。	教育長
				② 部活動から地域スポーツクラブへの移行について、指導者の人材確保の目途はついていないか？	

順番	議席	質問議員	質問事項	質問要旨	答弁者
8	9	小倉 裕子	(1) 町民の小さな声をどのような方法で聞いているか	① 役場の窓口対応で気を付けていることは。	町長
				② 接遇研修等への対応は。	
				③ 行政側から町民の声を聴く方法は。	
		(2) 富士見町の観光政策について	① 町にある観光施設及び飲食店等の周遊プランを作らないか。	町長	
			② 富士見町観光協会の今後の政策は。		
		(3) 带状疱疹ワクチン接種助成について	① 長野県は、検討は進めているようであるが、国の方針を待つ状態となっている。独自で実施に踏み切っている自治体もあるが、富士見町はどのように考えているか。	町長	
② 加齢や疲労、ストレスによる免疫力の低下で、80歳までに3人にひとりが発症しており、後遺症も深刻であるが、予防接種の促進、助成などの早期実現に向けた考えは。					
9	10	西 明子	(1) 「すずらんVIパートナーシップふじみ」の計画について	① 各施策の目標値の根拠は。また指標をこのような項目にした意図は。	町長
				② 今回、町議会で女性割合が27.3%となり、本計画の目標値に達しているが、今後の目標値をどのように考えるか。	
				③ 他の指標については、目標値に向け、5年でどのように実現していくか。また6年後以降への見通しは。	
		(2) 男女共同参画の視点やパートナーシップ宣誓制度から見た婚活支援について	① 婚活支援の目的は少子化対策か。	町長	
			② 家族のあり方の変化や、ライフスタイルの多様化のなかで「結婚」や「家族」を前提にした人口減対策から、単身者や「結婚」という形をとらない/とることができない人でも安心して暮らすことのできる町としての可能性は探ることはできないか。		
		(3) 「こども基本法」を受けた今後の教育施策の展開について	① 「こども基本法」では、子どもの「意見表明権」を明記している点特徴的である。3月に作成された「富士見町教育大綱」と「こども基本法」との関連は。	教育長	

6月5日(月) 5名 1番～5番
6日(火) 4名 6番～9番